

科目名：経済書講読A・B 担当者：川端 望 時間：I、II 学期とも火2 対象学年：2年

1. 授業の目的と概要

テーマ：タバコ戦争の政治経済学

目的：アメリカにおけるタバコ論争の経過と論点を学び、時事的なトピックについて、社会科学的に深く考える能力を身につける。

2. 学習の到達目標

「語学の講義」ではなく、「調べ、考え、議論するスタイルを学ぶゼミ」を実施する。「勉強の仕方」と「議論の仕方」を学ぶとあってくれればよい。具体的目標は以下のとおり。

- ・経済英語の読解力を身につける。
- ・選択の自由、個人と政府の関係、競争と独占、社会的費用の内部化、企業の社会的責任、といった、社会科学、経済学と産業論の基礎的視点を身につける。
- ・文献検索、レポート作成、発表の基礎的な方法を学ぶ。

3. 授業の内容・方法と進度予定

テキストに沿って、以下のサイクルで英文解釈と内容討議を繰り返す。

参加者を班に分けて運営する。

	予習	授業 t 回目	予習	t+1 回目	予習	t+2 回目
テキストの パート X-1	論点調査	内容討議				
パート X	訳出	訳文提出	英文疑問点 検討	英文解釈・論 点提示	論点調査	内容討議
パート X+1					訳出	訳文提出

4. 成績評価方法

討論への貢献(班)：30点、討論への貢献(個人)：20点、最終レポート(個人)：50点

5. 教科書と参考書

教科書：Walter Adams and James Brock, *The Tobacco Wars*, South-Western College Publishing, 1999. 各自購入すること。

経済辞書：必ず1冊手元に置くこと。各自が選択してよいが、『有斐閣経済辞典 第4版』、『岩波現代経済学事典』を勧める。

参考書：ウォルター・アダムス&ジェームス・ブロック編『現代アメリカ産業論 第10版』創風社、2002年、第2、11章。

6. 予習と復習について

訳出、論点提出、論点に関する調査とまとめなど、徹底した予習が必要になる。

7. その他

タバコによる健康被害やタバコ規制について関心のある人には、とくに受講をすすめる。

各種問い合わせはメールで受け付ける。 kawabata@econ.tohoku.ac.jp